記者発表資料

令 和 6 年 5 月 2 7 日
国土交通省東北地方整備局

鳴子ダムの貯水率低下により江合川で注意体制設置
－東北地方整備局管内の河川・ダムの状況－

東北地方の今年の冬は、記録的な少雪となっており、また、直轄管理ダムの近傍地点における４月・５月の降水量は、多いところで 93 ㎜、少ないところで 20.5 ㎜でした。

ほとんどの河川で例年（5 ヶ年平均 R1～R5）より流量が減少しております。

かんがい期がはじまり、管内の 18 ダムの内 17 ダムでかんがい用水の供給を行っていますが、鳴子ダムでは、少雨等の影響により貯水率が約 34%（5/27 9:00 現在）と低くなっていることから、注意体制を設置しています。

なお、東北地方整備局では令和 6 年 3 月 14 日に渇水対策本部（注意体制）を設置しています。

1．東北地方の降水量（別紙 1 参照）※出典：気象庁 HP より

○直轄管理ダムの近傍地点における４月・5 月の降水量は、多いところで 93 ㎜、少ないところで 20.5 ㎜

2．東北地方（12 水系）の河川流量状況（別紙 2 参照）

○ほとんどの河川で例年（５ヶ年平均 R1～R5）よりも河川流量が減少

3．東北地方の直轄管理ダム貯水率（別紙 3 参照）

○ダム貯水率（利水容量）は、少雨等の影響により、9 ダムで昨年度と比べ低くなっている

4．鳴子ダムにおける対応（別紙 4 参照）

○鳴子ダム（宮城県大崎市）の貯水率は約 34% ※昨年同時期の貯水率は約 55%

○貯水率（利水容量）が低下し、早期の貯水量回復が見込まれないことから、令和 6 年 5 月 23 日渇水対策支部（注意体制）を設置。関係機関と連携して情報収集に努め、渇水に備えています

5．名取川水系広瀬川における対応（別紙 5 参照）

○名取川水系広瀬川では、河川流量が減少していることから関係機関と連携して情報収集に努め、渇水に備えます

6．農業用水確保のための対応（別紙 6 参照）

○農業用水が不足するおそれがある 2 地区において、関係機関と情報共有を図りながら水利用の変更対応を行っています

○農業用ダム（東北農政局所管）の貯水率は、平年の約 93%（5/15 現在）

7．向こう 3 か月の天候の見通し（別紙 7 参照）※出典：気象庁 HP より

○向こう 3 か月（6 月～8 月）の天候の見通しは、気温は高く、降水量はほぼ平年並の見込み

【参考】

・令和 6 年 3 月 12 日記者発表「今冬の少雪傾向を踏まえ渇水対策本部(注意体制)を設置します」
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/kisya/kisyah/images/98404_1.pdf

・令和 6 年 4 月 24 日記者発表「平年より 3 週間程度早く雪解け」
https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/98819_1.pdf

＜発表記者会＞青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、
秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、
東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

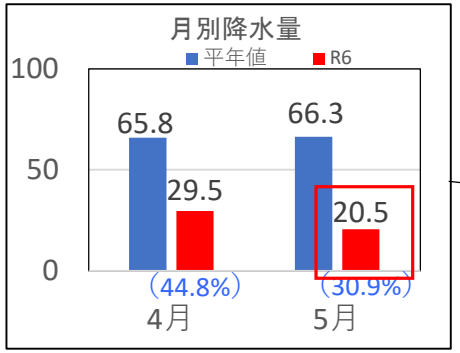
[本件に対するお問い合わせ先]
国土交通省 東北地方整備局 河川部 河川環境課
課　　長 大平（おおだいら） 知秀（ともひで）（内線３６５１）
課長補佐 菊地（きくち） 純（じゅん）（内線３６５６）
仙台市青葉区本町３－３－１ 仙台合同庁舎Ｂ棟
TEL 022-225-2171（代） FAX 022-215-3754

1．東北地方の降水量（令和6年5月21日現在）

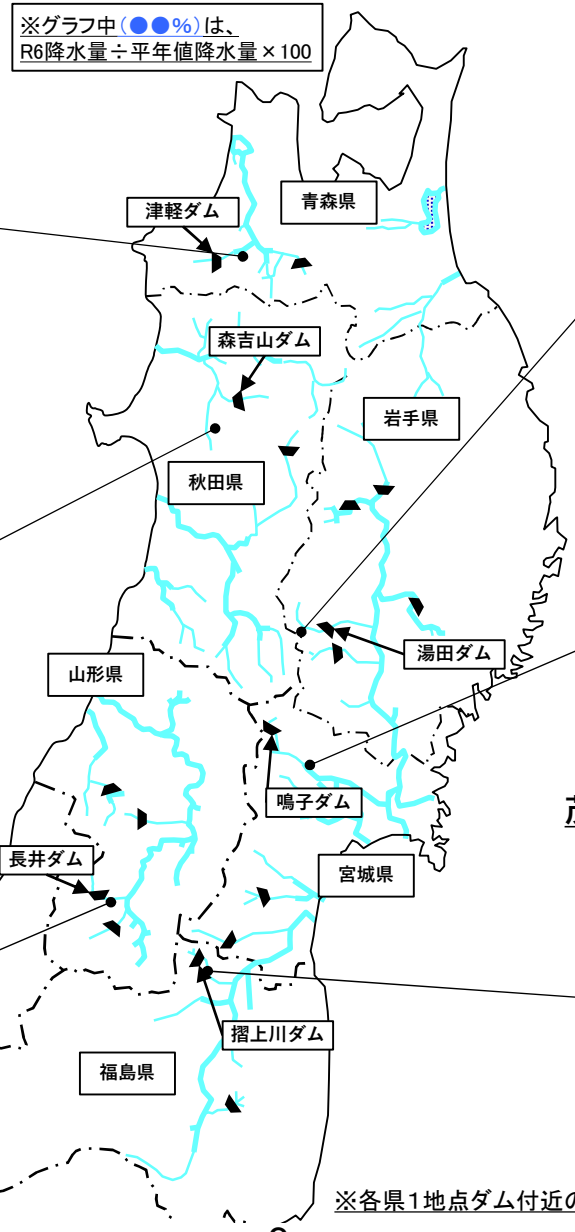
別紙１

➢ 直轄管理ダムの近傍地点における4月・5月の降水量は、平年よりも少ない状況であり、多いところで93mm、少ないところで20.5mm

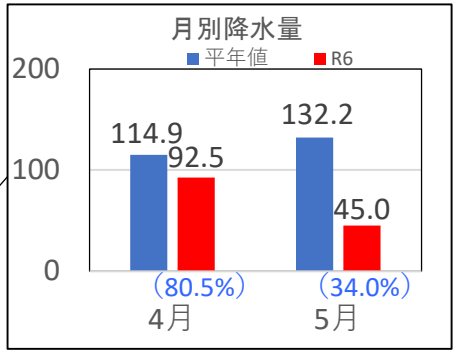
弘前地点（青森県 津軽ダム付近）降水量



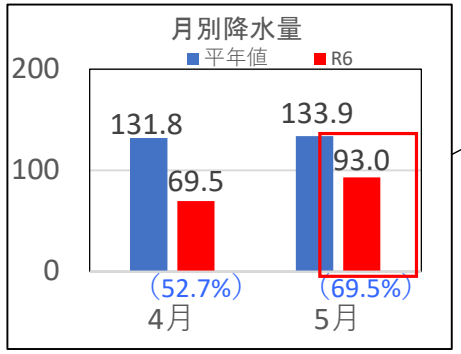
※グラフ中（●●%）は、
R6降水量÷平年値降水量×100



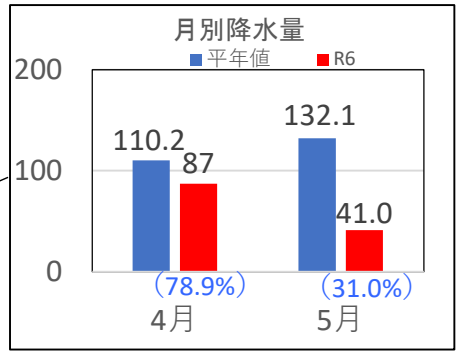
湯田地点（岩手県 湯田ダム付近）降水量



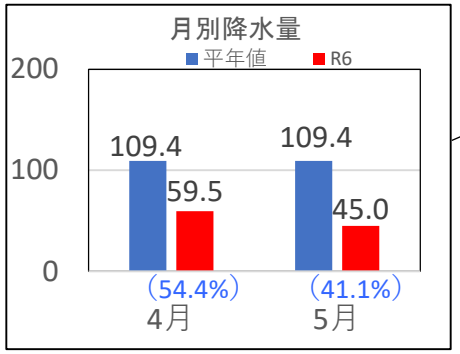
阿仁合地点（秋田県 森吉山ダム付近）降水量



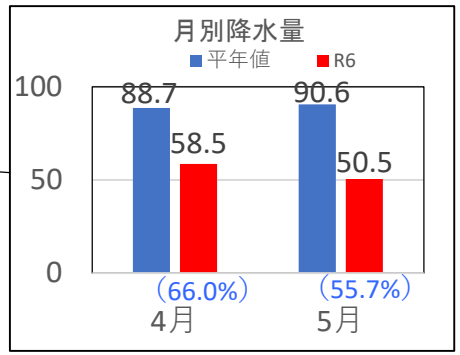
川渡地点（宮城県 鳴子ダム付近）降水量



長井地点（山形県 長井ダム付近）降水量

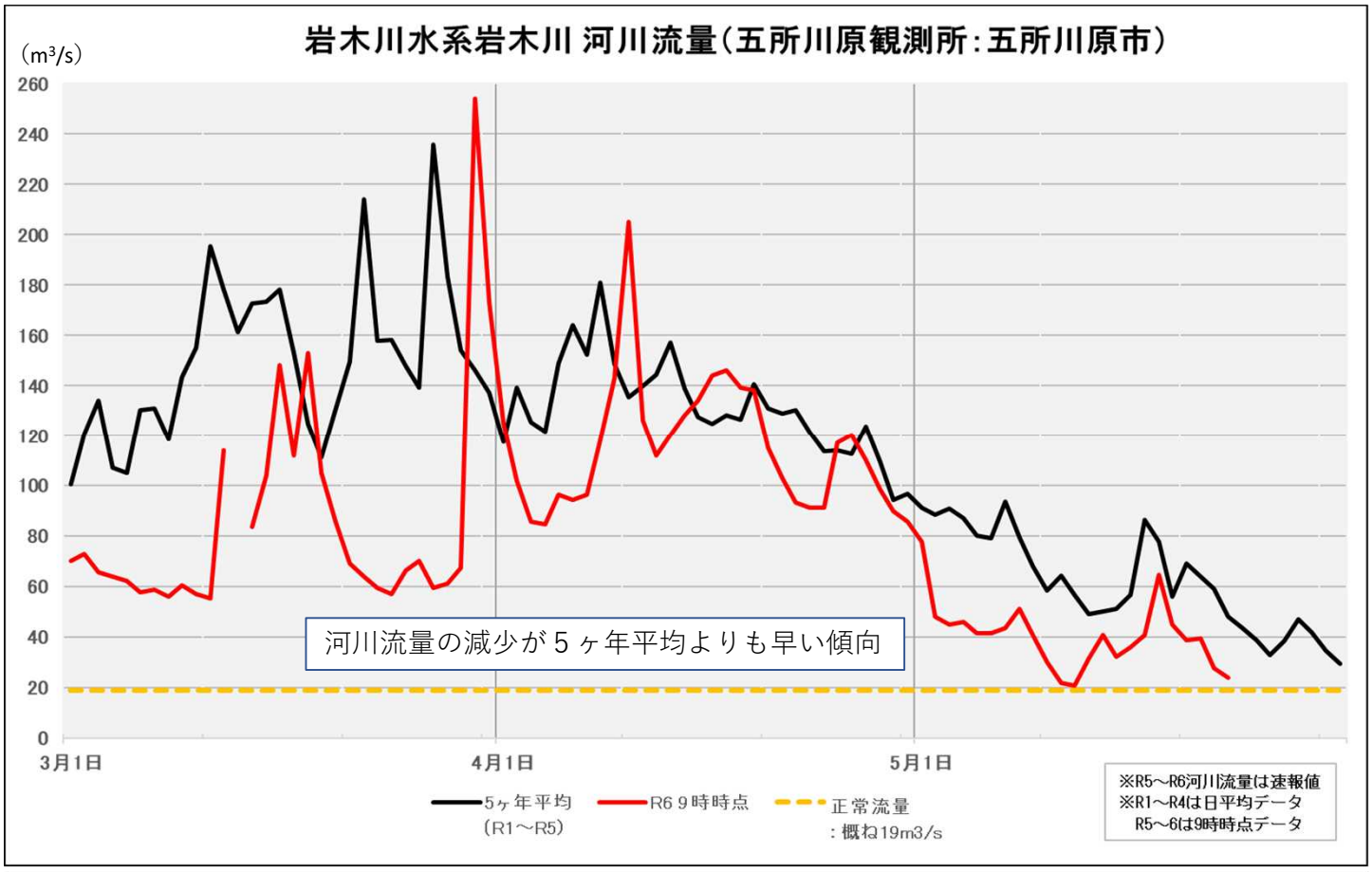


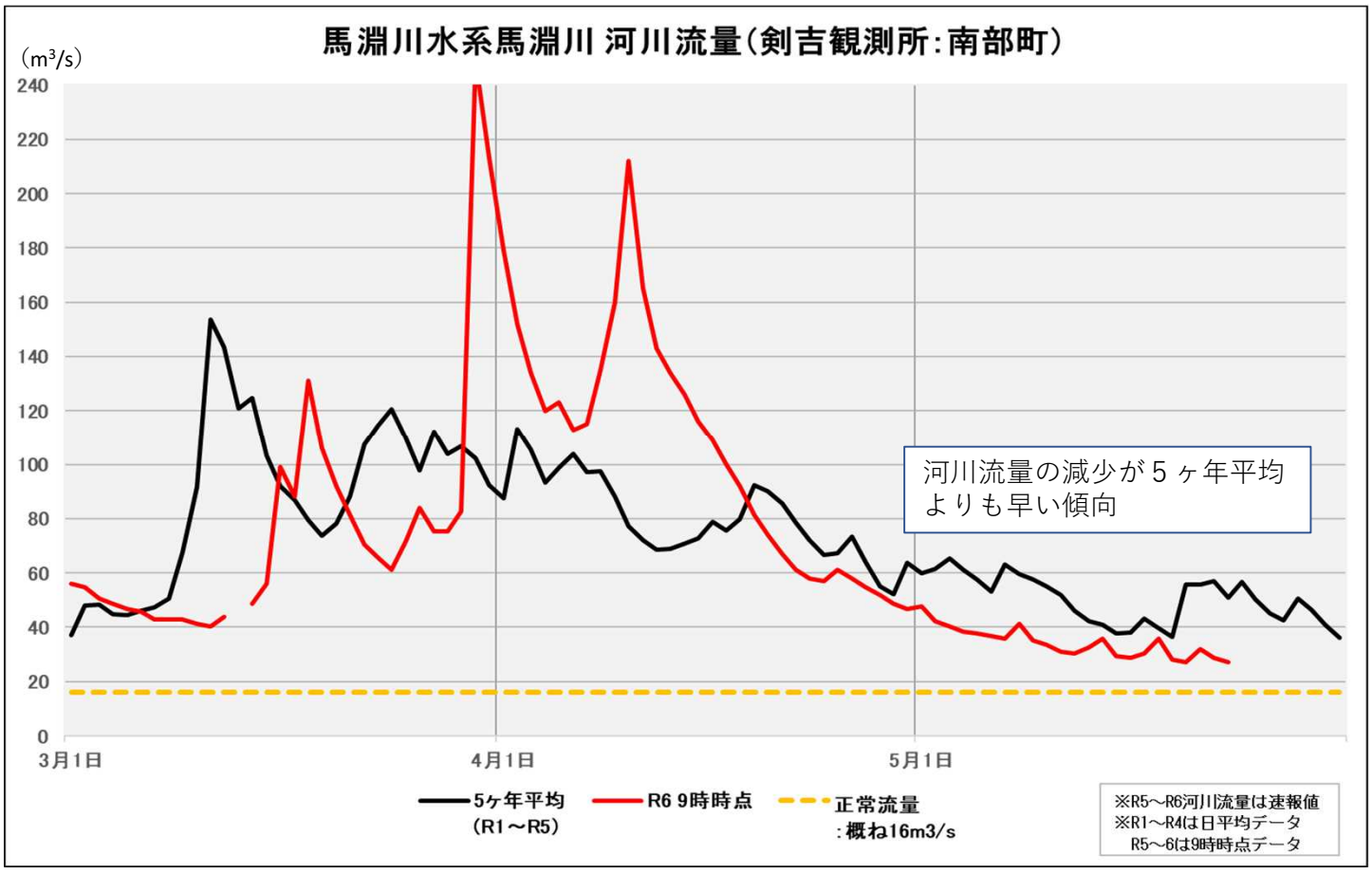
茂庭地点（福島県 摺上川ダム付近）降水量



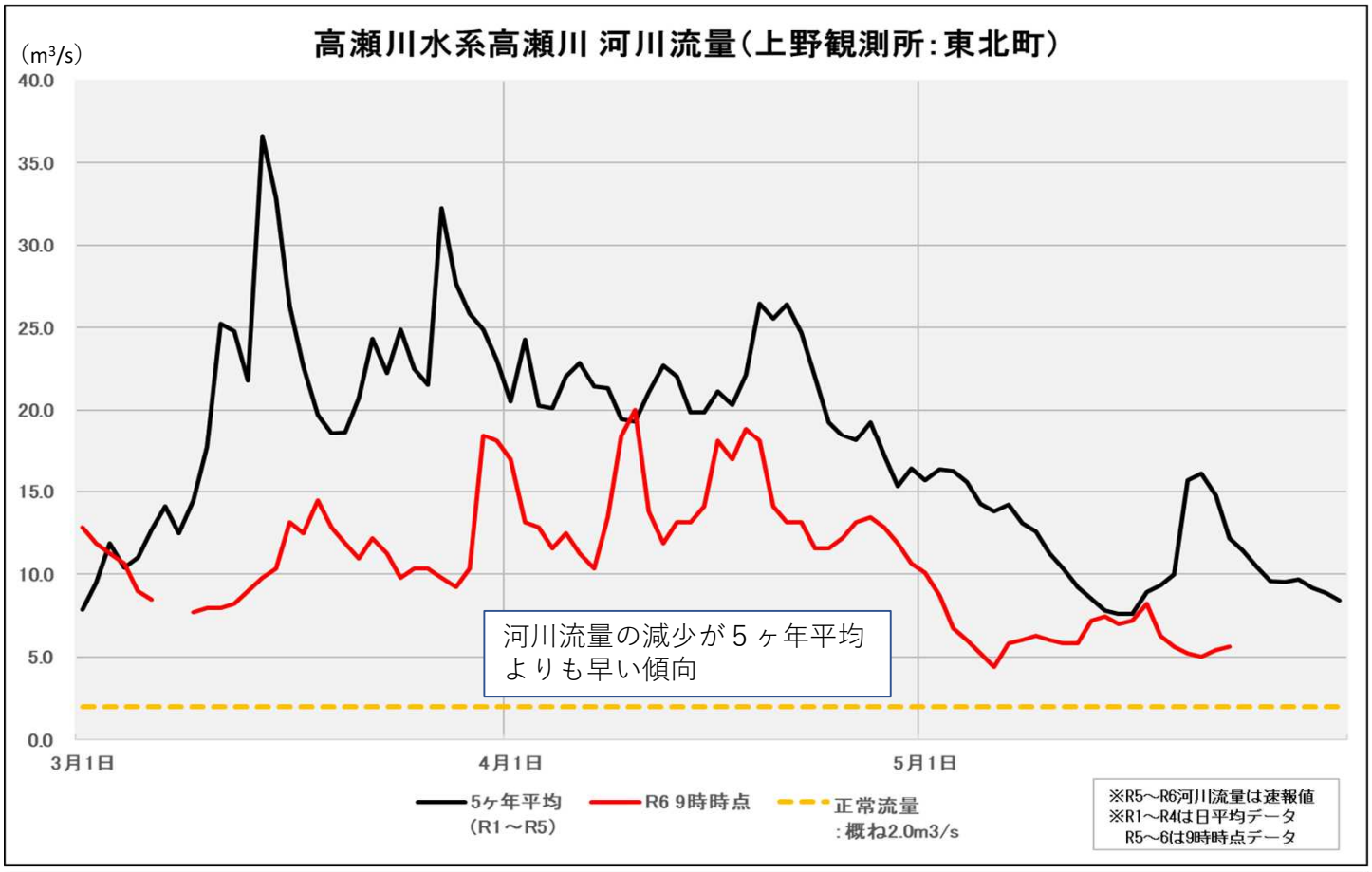
※各県1地点ダム付近の気象庁観測データにて作成、R6.5の降水量は5/21時点で集計

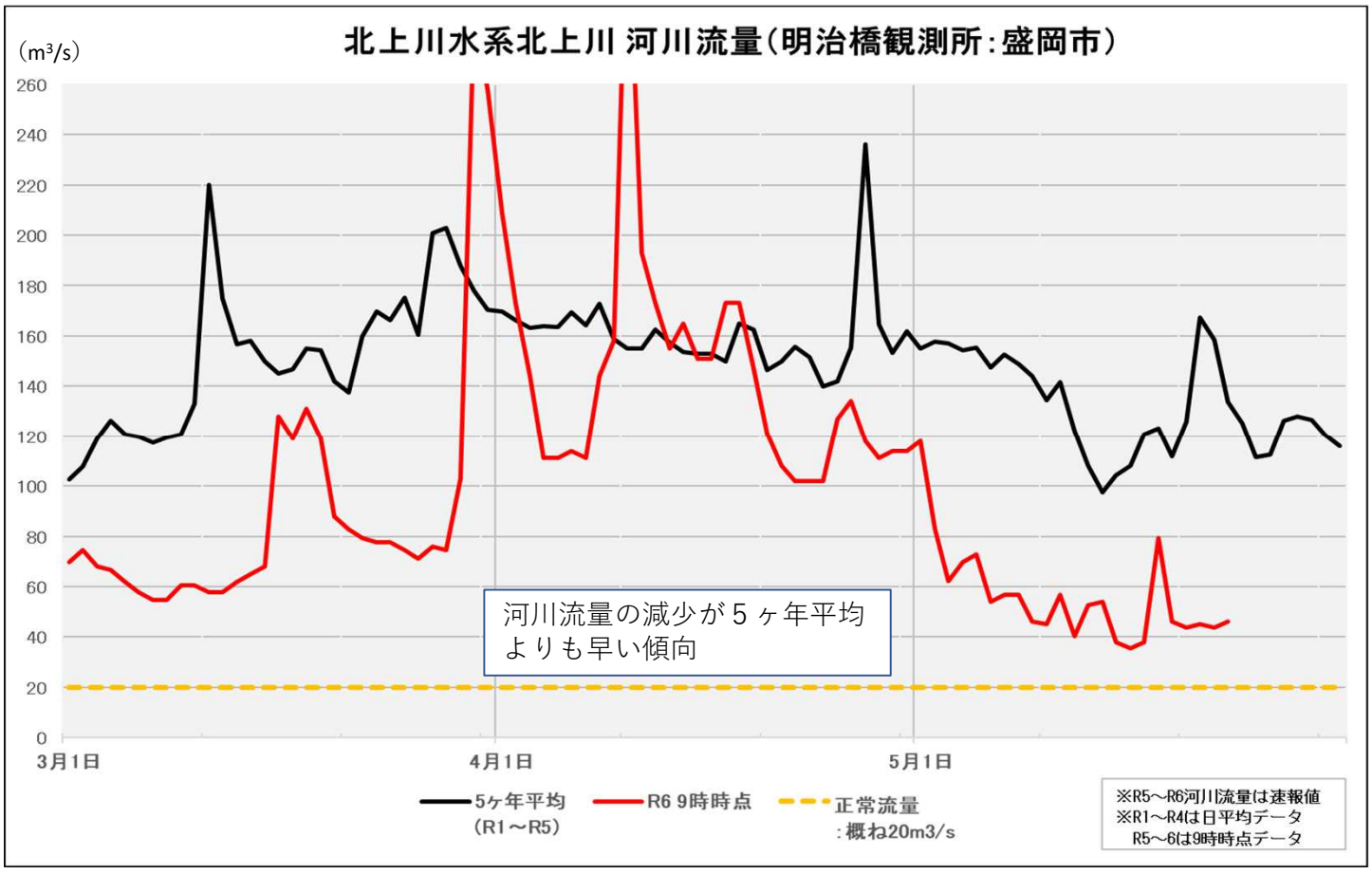
2. 東北地方（12水系）の河川流量状況（1/9）　別紙２



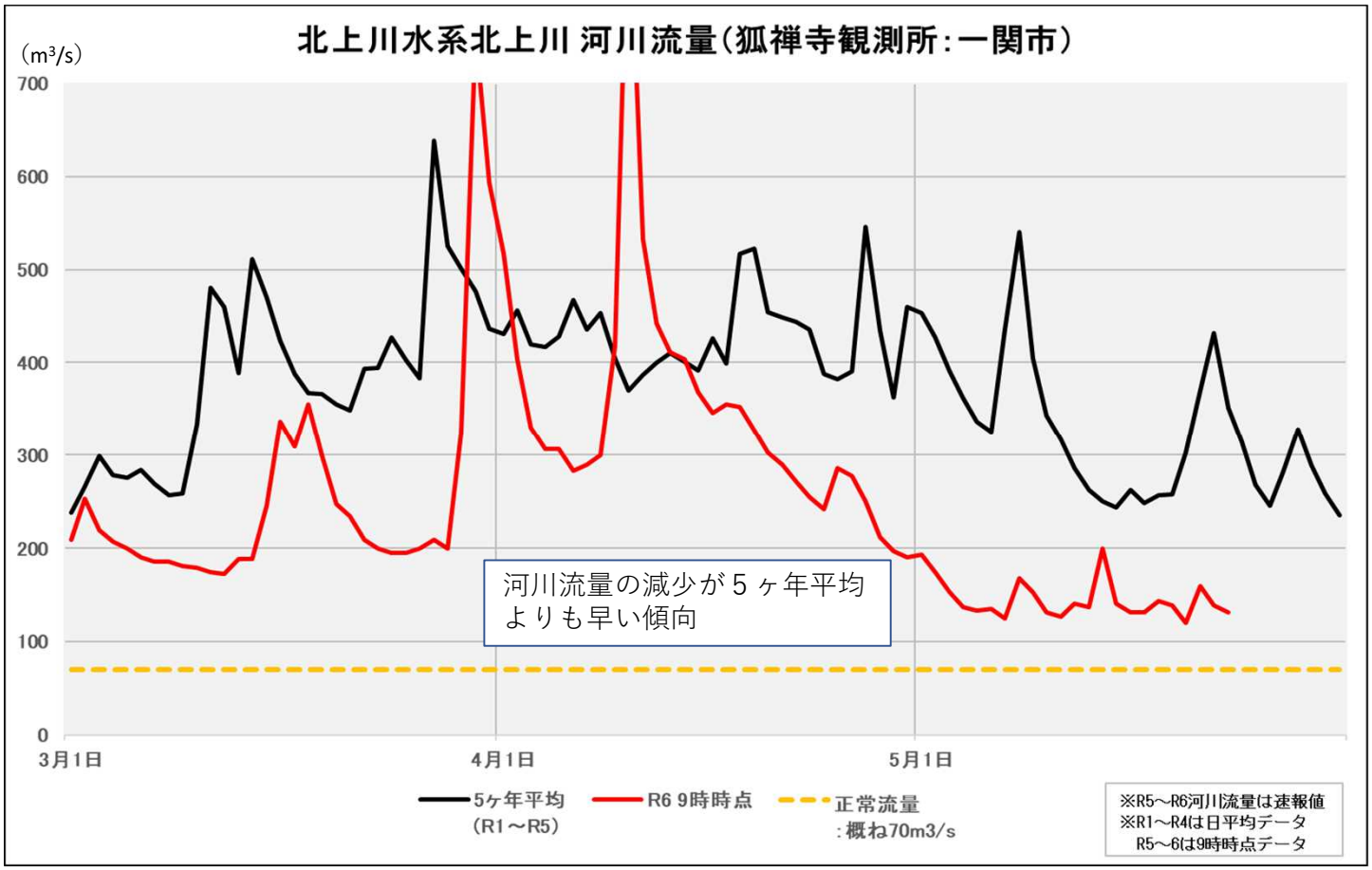


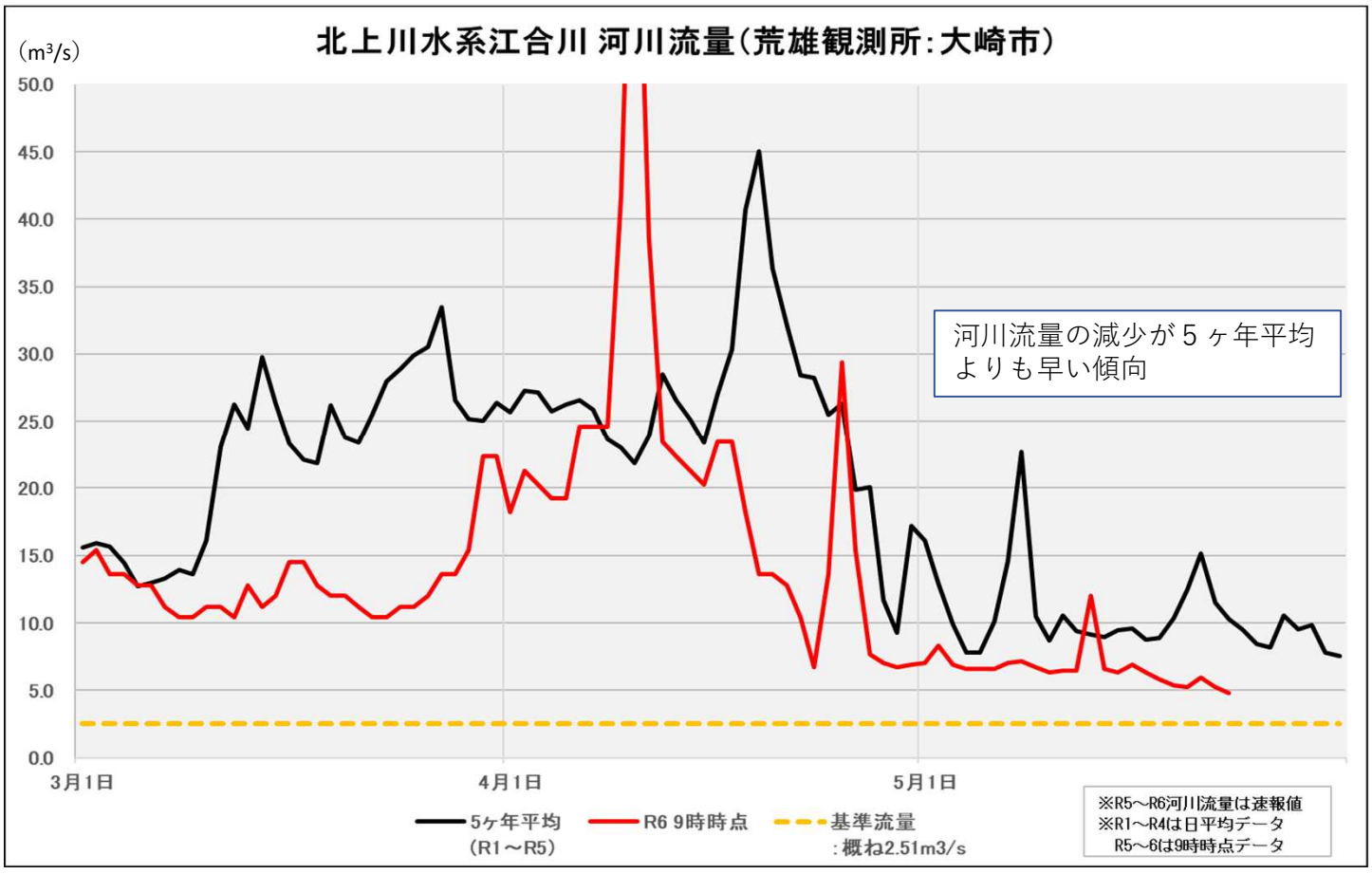
2. 東北地方（12水系）の河川流量状況（2/9）　別紙２



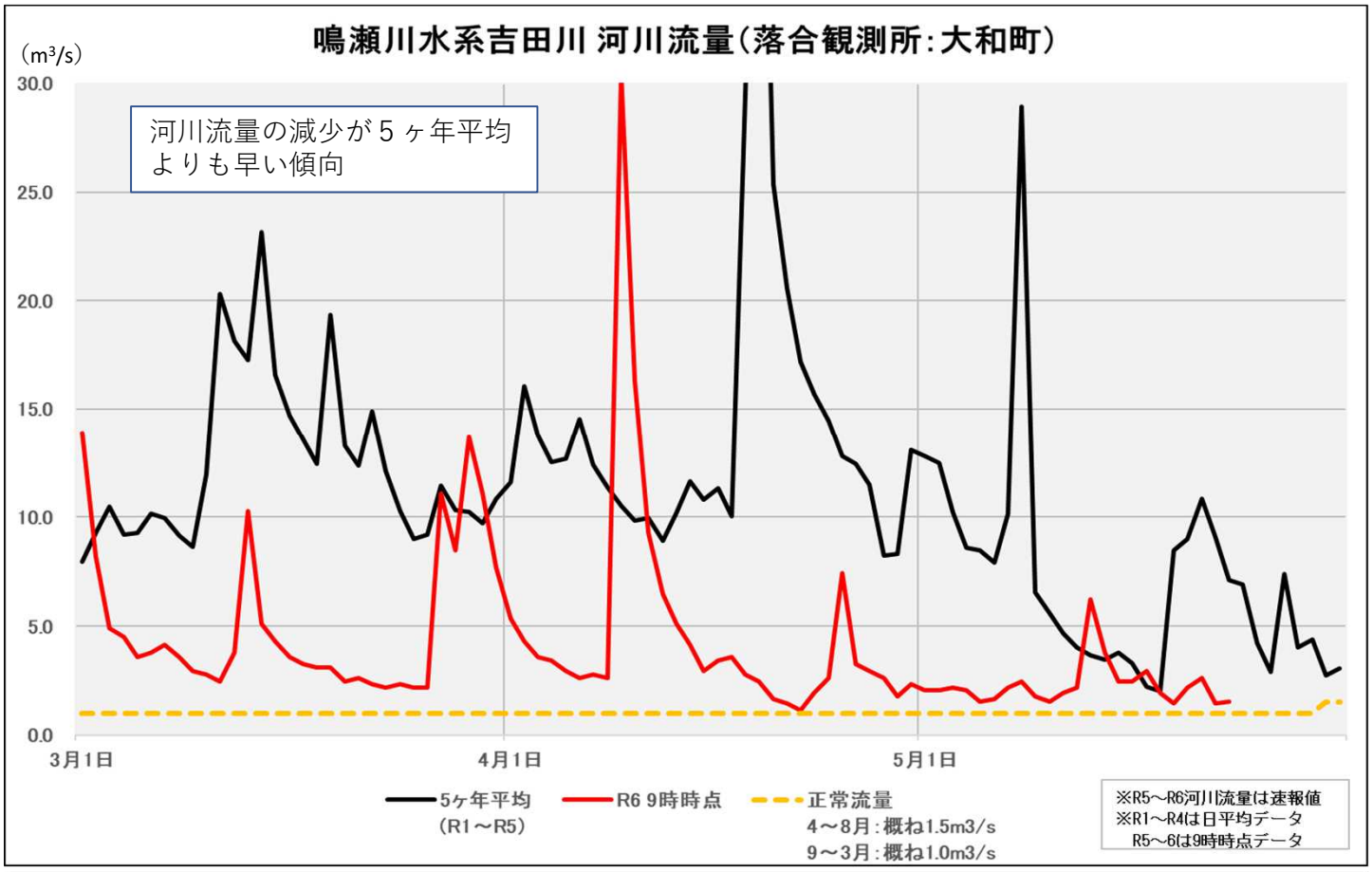


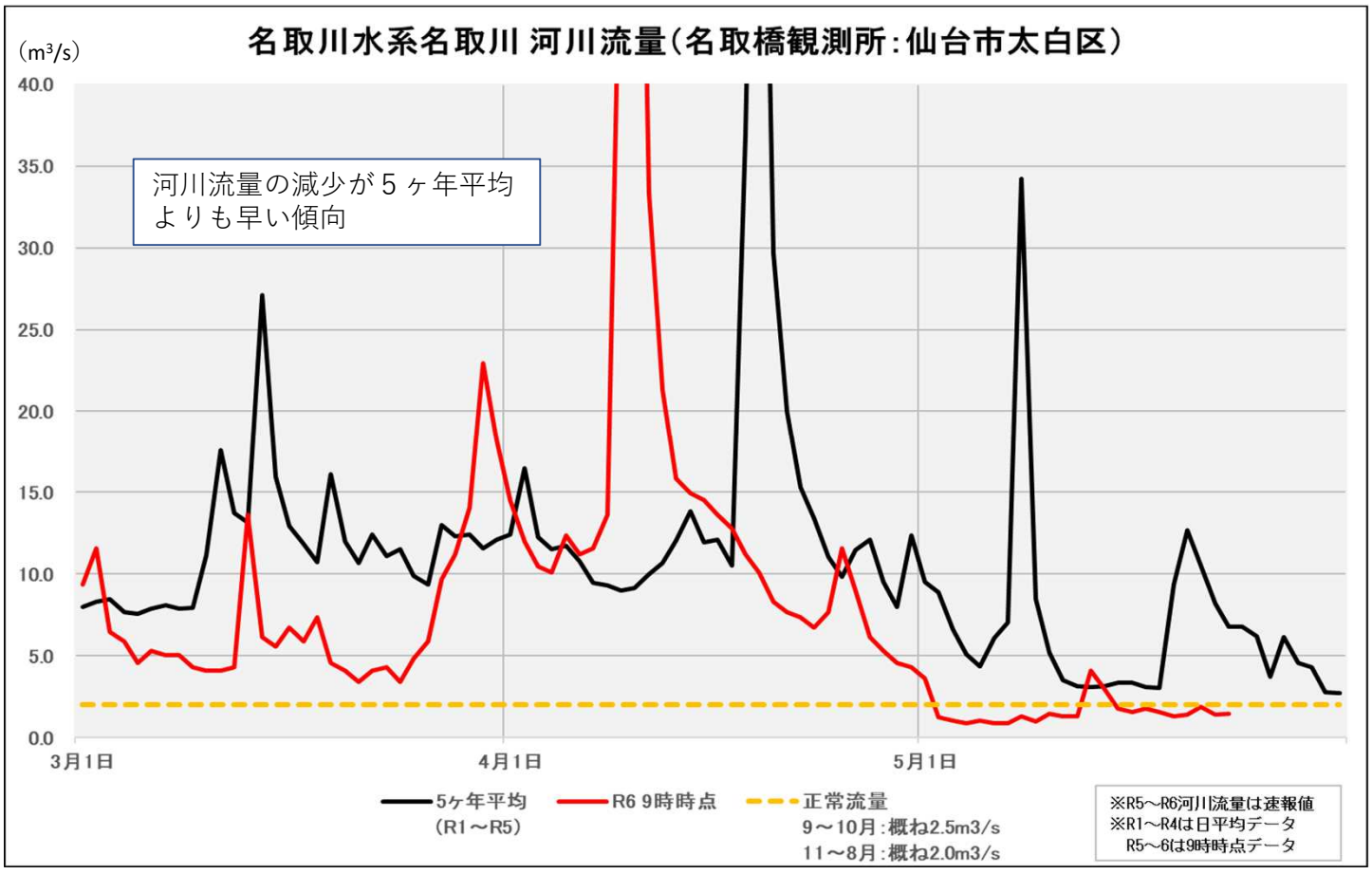
2. 東北地方（12水系）の河川流量状況（3/9）　別紙２



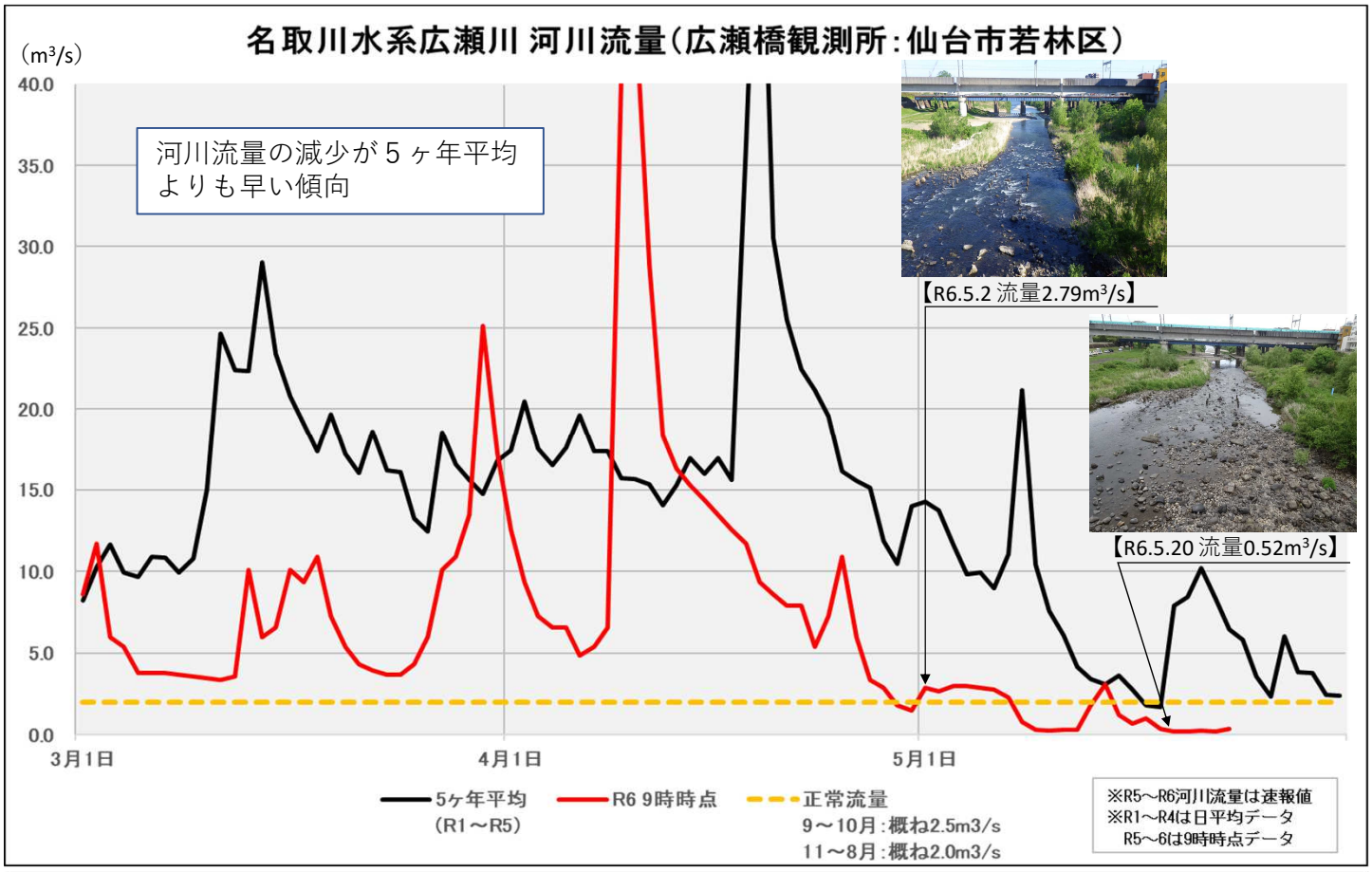


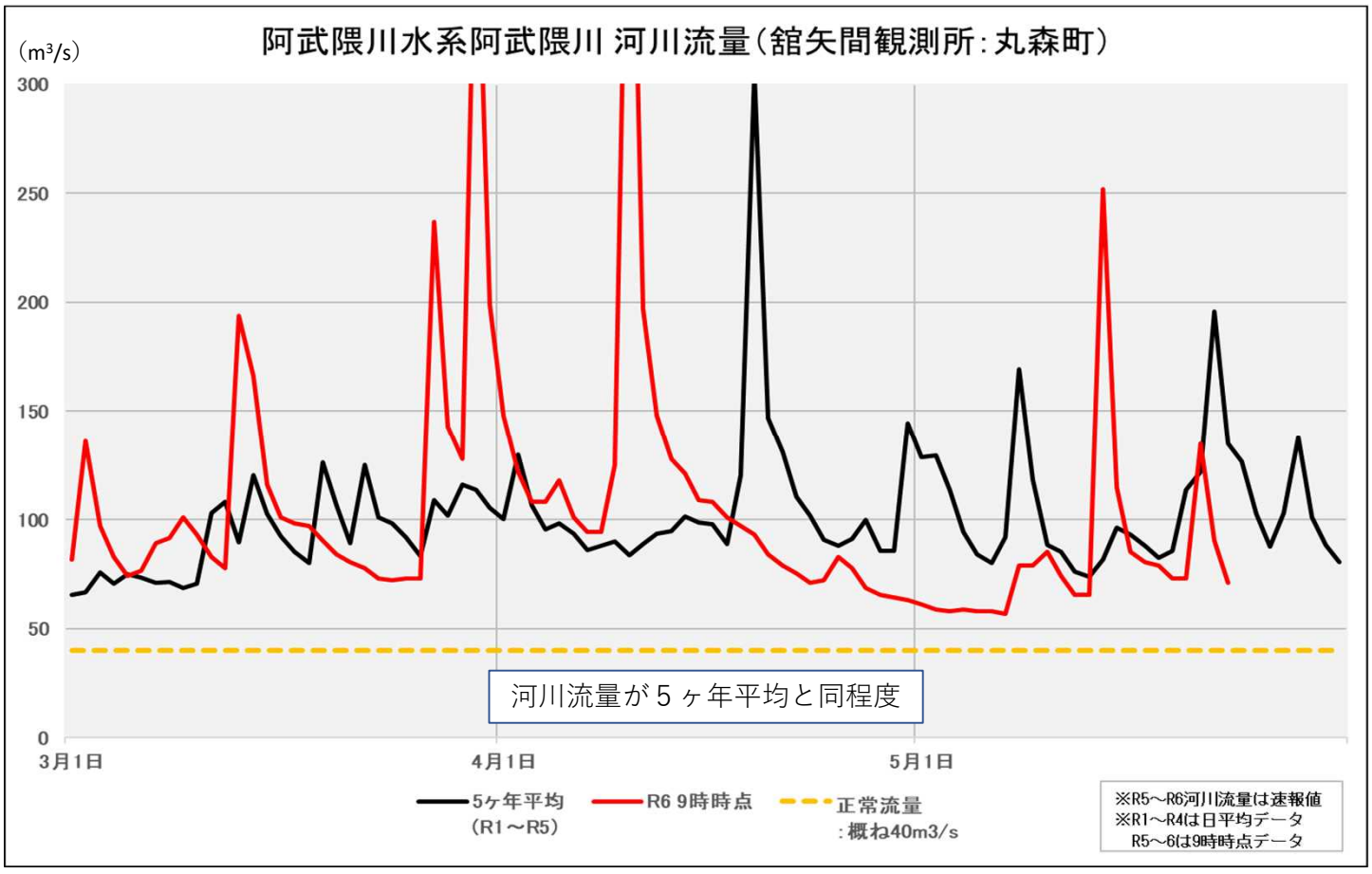
2. 東北地方（12水系）の河川流量状況（4/9）　別紙２



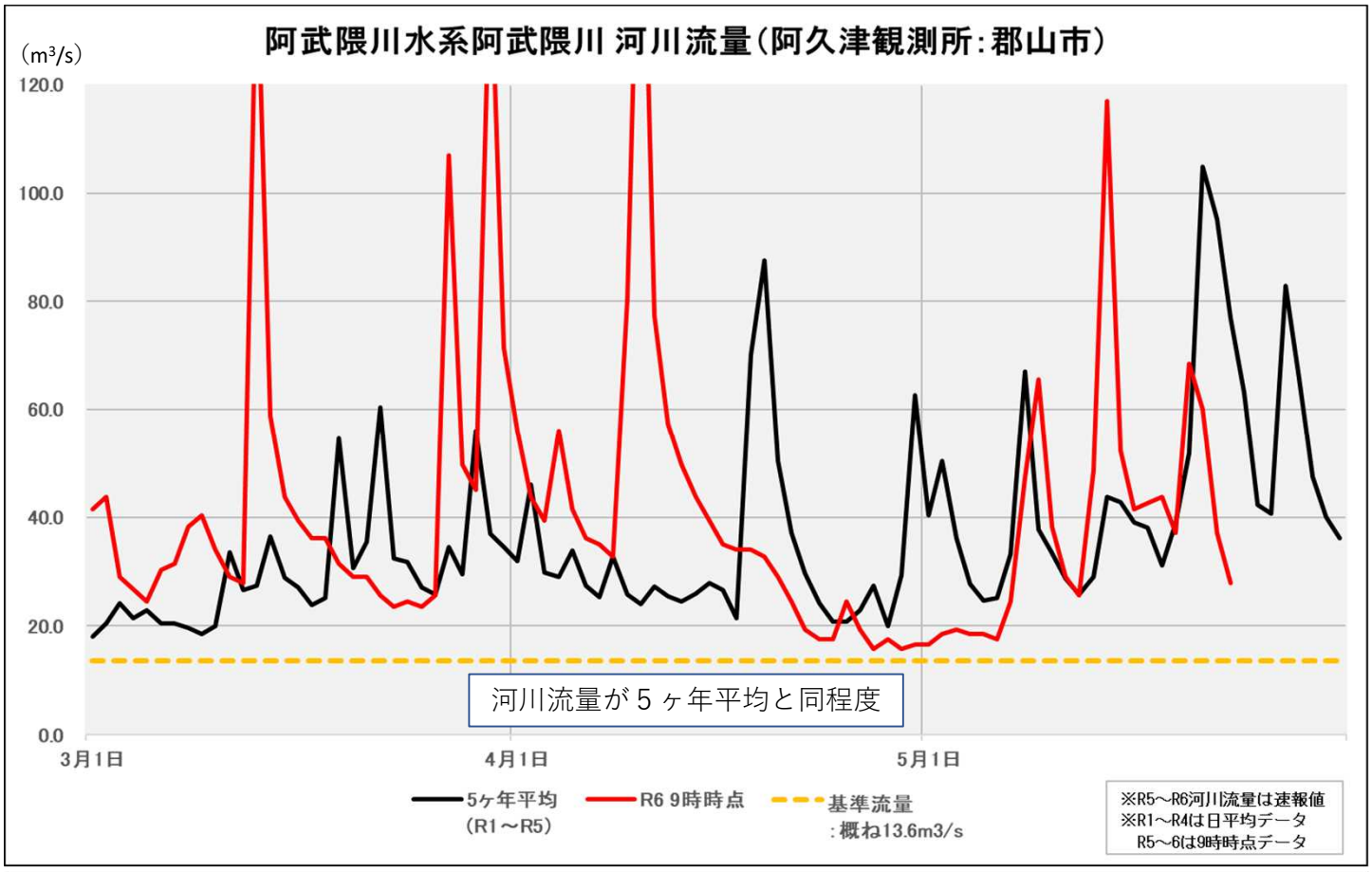


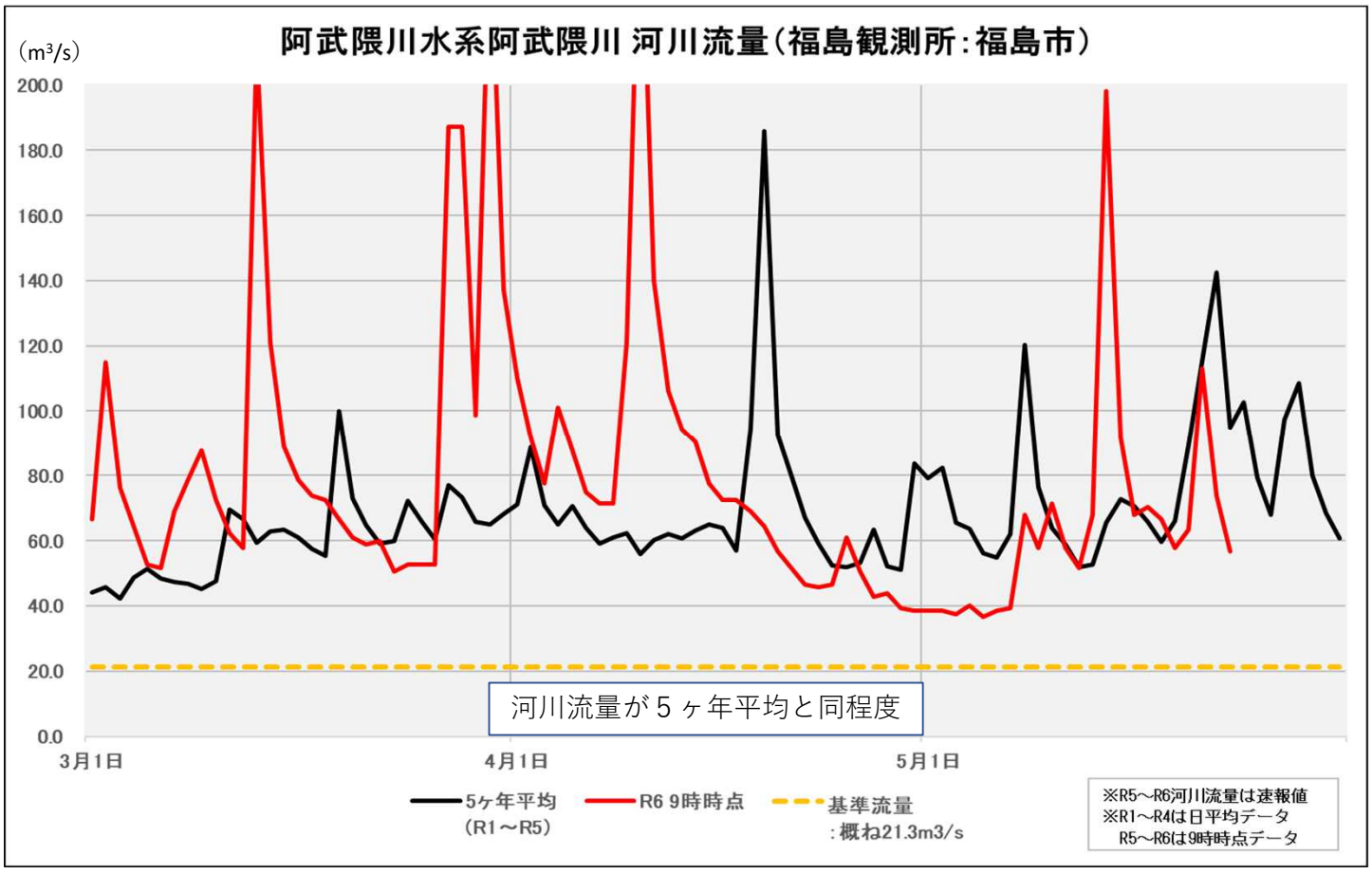
2. 東北地方（12水系）の河川流量状況（5/9）　別紙２



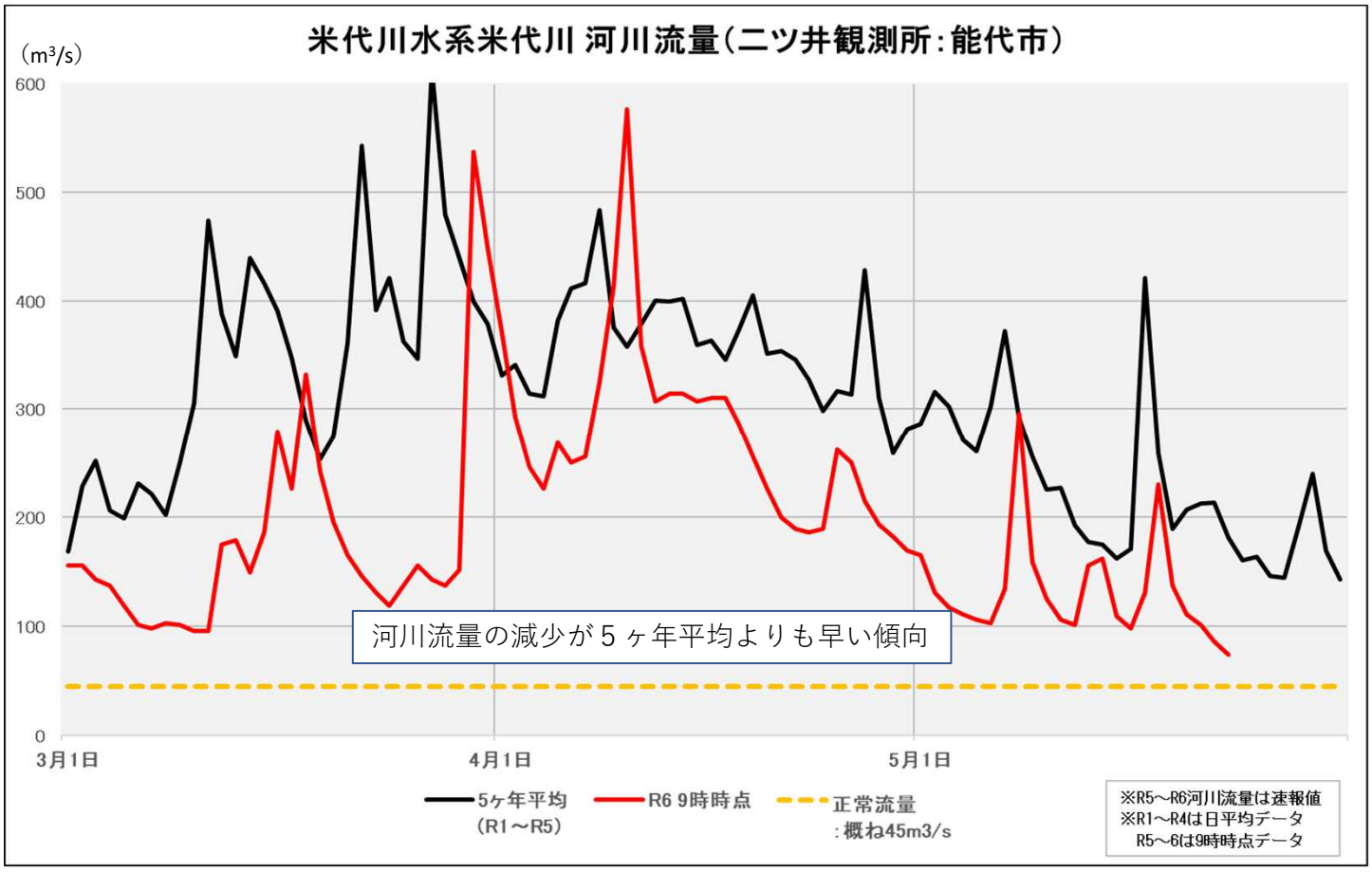


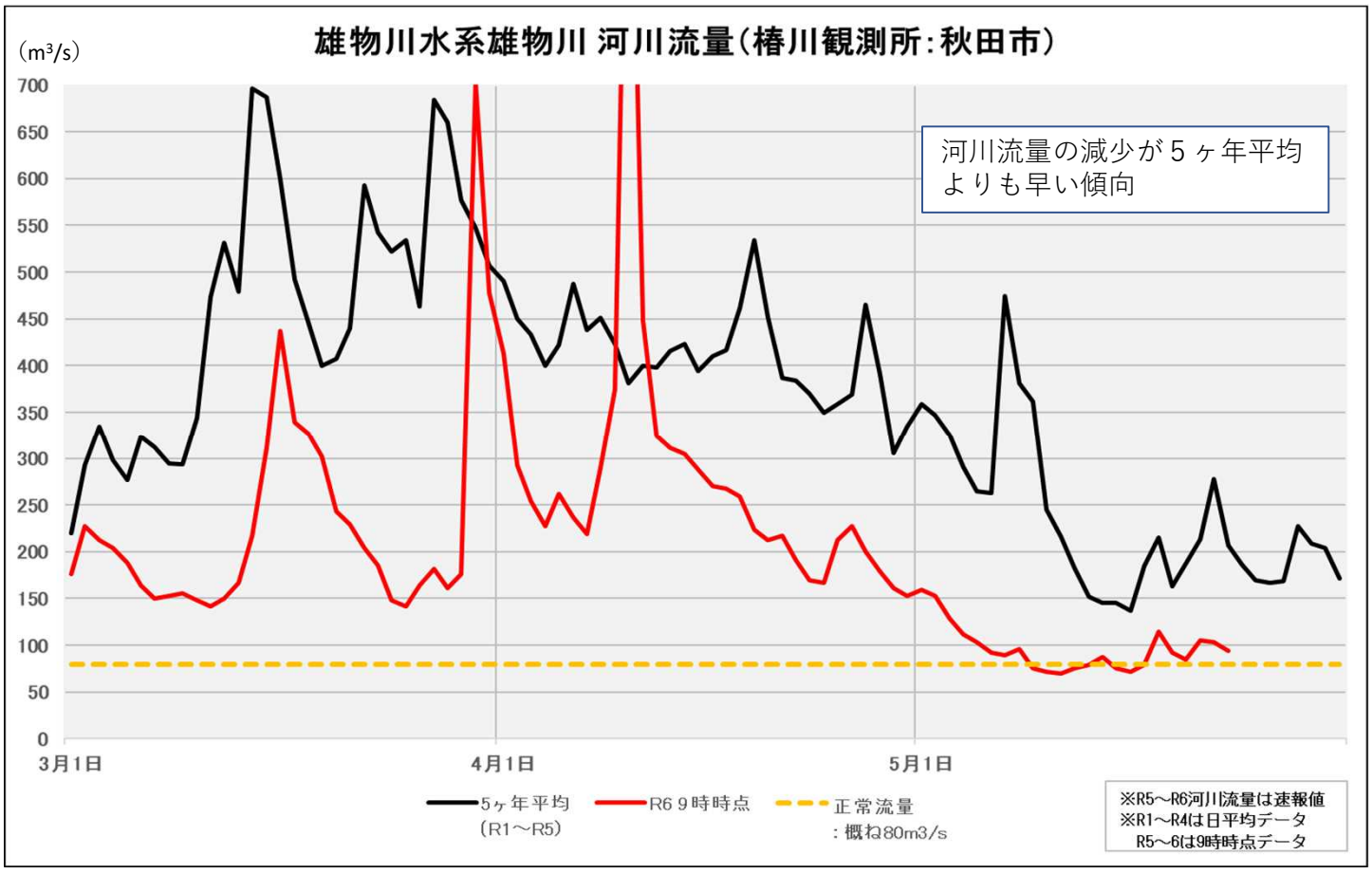
2. 東北地方（12水系）の河川流量状況（6/9）　別紙２



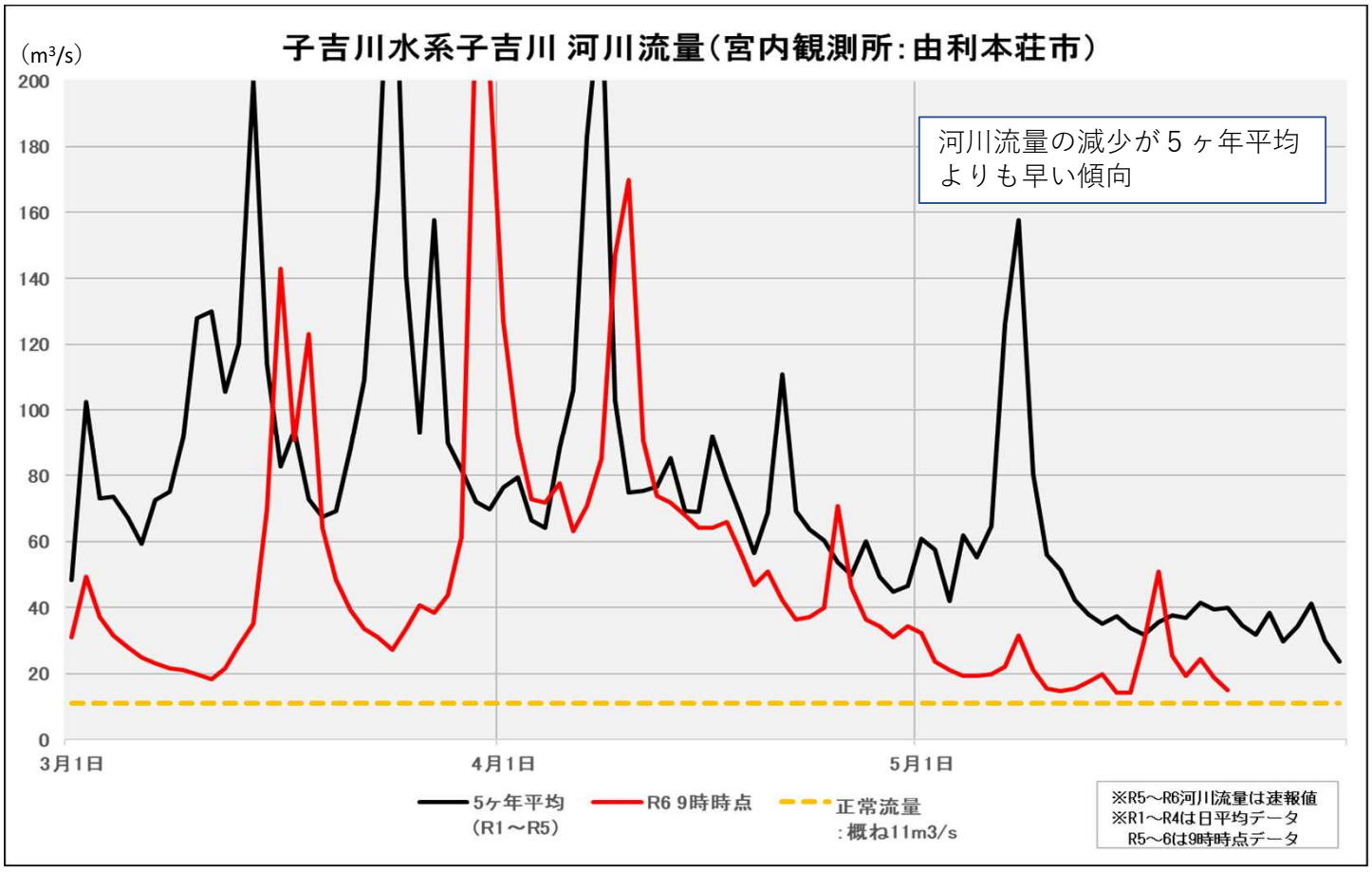


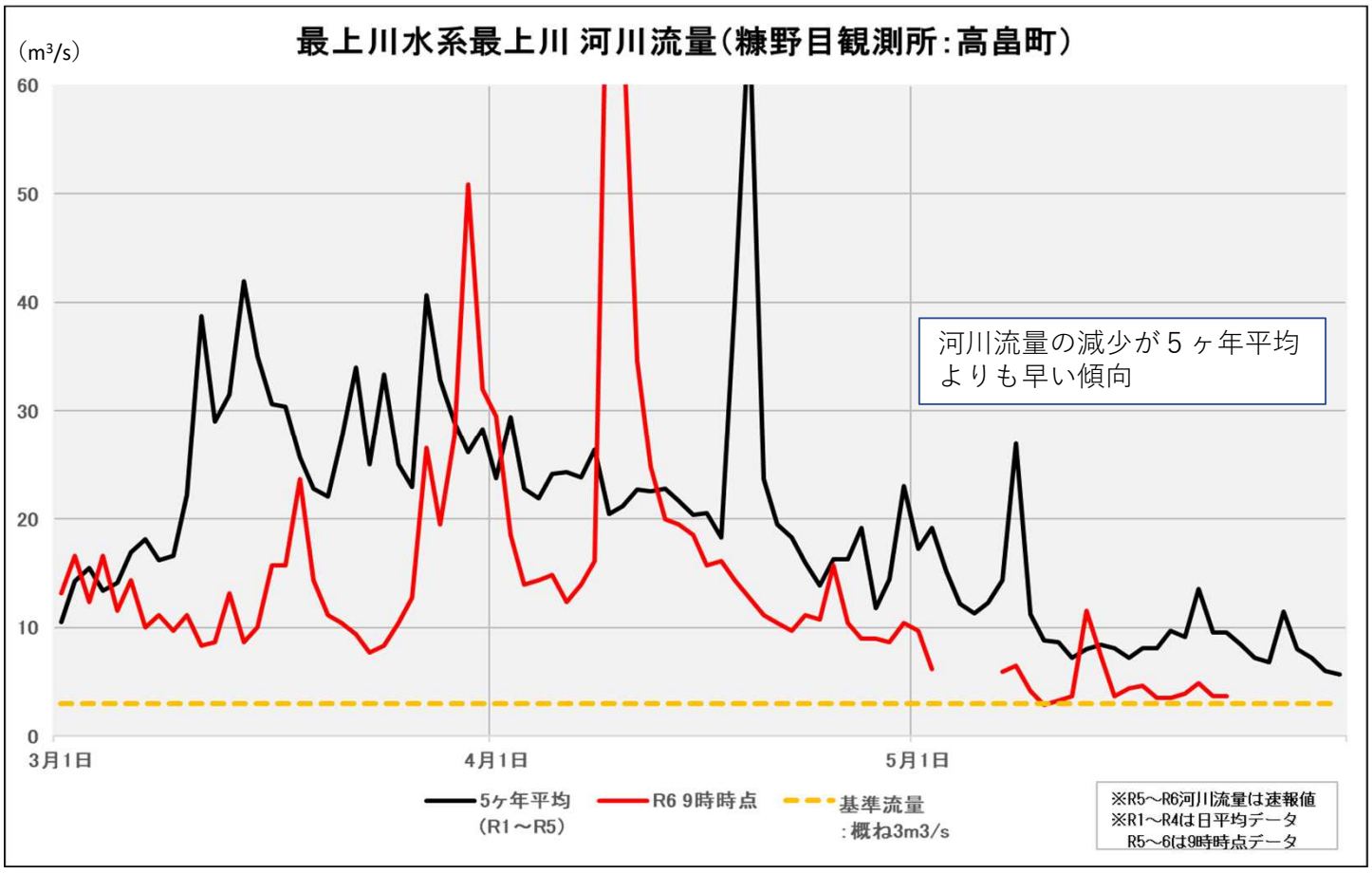
2. 東北地方（12水系）の河川流量状況（7/9）　別紙２



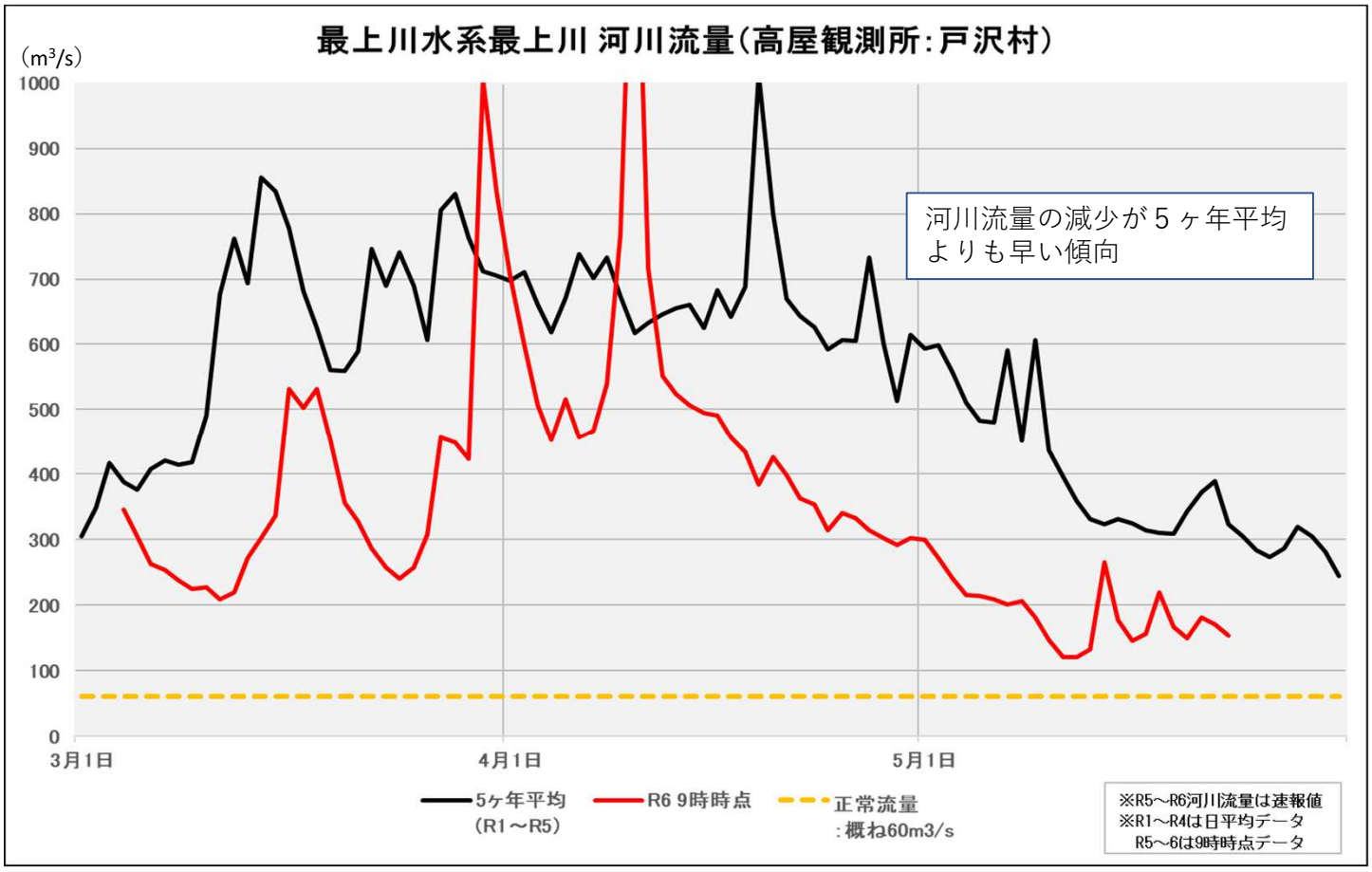


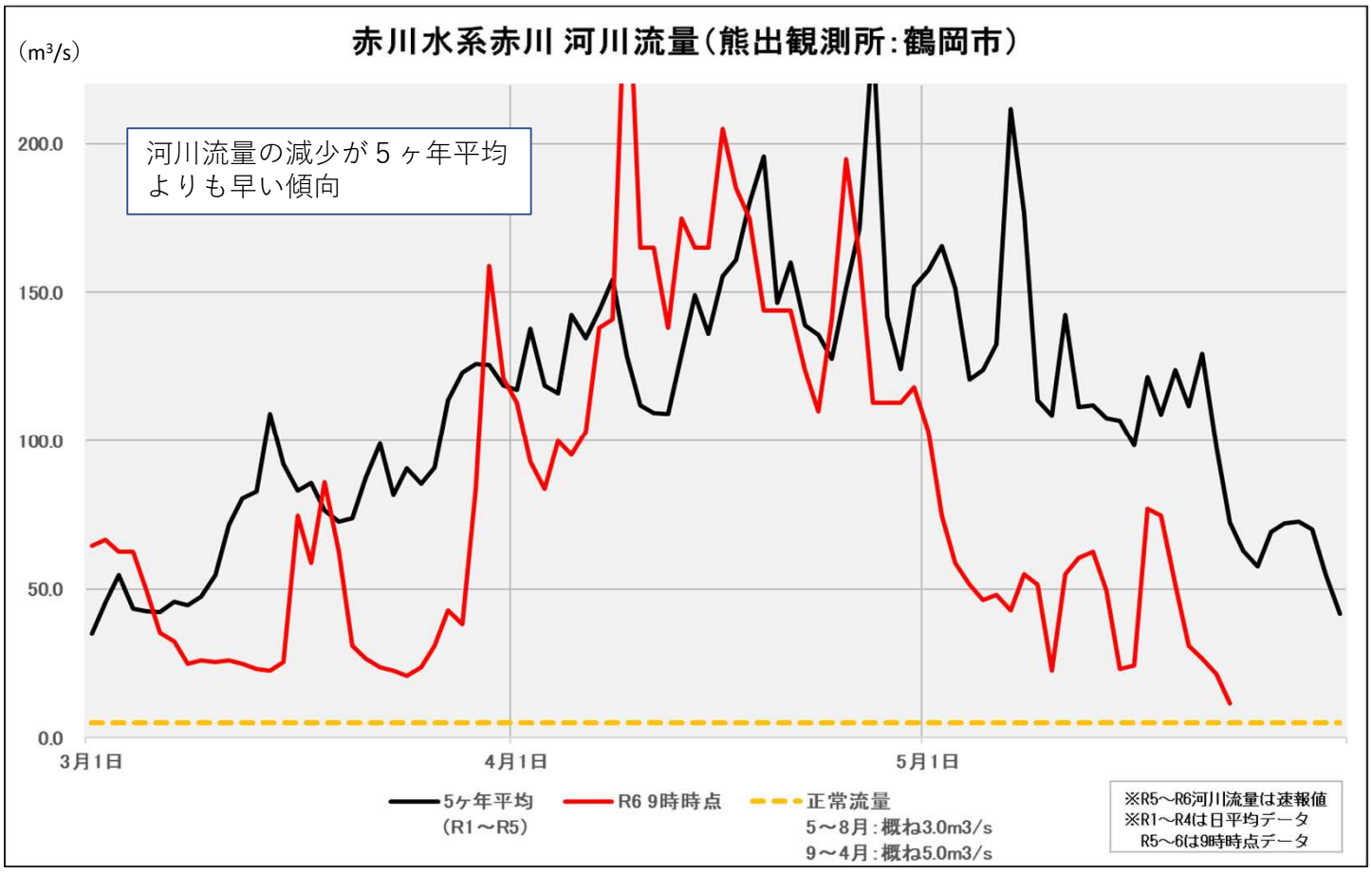
2. 東北地方（12水系）の河川流量状況（8/9）　別紙２





2. 東北地方（12水系）の河川流量状況（9/9）　別紙２





3. 東北地方の直轄管理ダム貯水率（令和6年5月27日現在）

別紙３

- かんがい期がはじまり、管内の18ダムの17ダムでかんがい用水の供給を行っています
- 貯水率（利水容量）は、少雨等の影響により、9ダムで昨年と比べ低くなっている

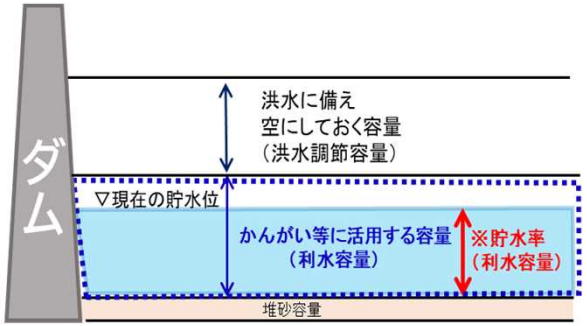
＜直轄管理ダム位置図＞



＜直轄管理ダムの貯水率＞赤字：昨年度より貯水率が低いダム

NO.	ダム名	貯水率（%） R6.5.27時点	貯水率（%） R5.5.27時点	位　置
①	浅瀬石川	79	72	青森県黒石市
②	津軽	92	94	青森県中津軽郡西目屋村
③	御所	66	63	岩手県盛岡市
④	田瀬※1	－	－	岩手県花巻市
⑤	湯田	68	58	岩手県和賀郡西和賀町
⑥	胆沢	77	95	岩手県奥州市
⑦	鳴子	34	62	宮城県大崎市
⑧	釜房	73	78	宮城県柴田郡川崎町
⑨	七ヶ宿	90	91	宮城県刈田郡七ヶ宿町
⑩	玉川	86	91	秋田県仙北市
⑪	森吉山	94	100	秋田県北秋田市
⑫	寒河江	81	76	山形県西村山郡西川町
⑬	白川	68	64	山形県西置賜郡飯豊町
⑭	長井	91	99	山形県長井市
⑮	月山	69	55	山形県鶴岡市
⑯	三春	70	65	福島県田村郡三春町
⑰	摺上川	93	98	福島県福島市
	四十四田※2	80	83	岩手県盛岡市

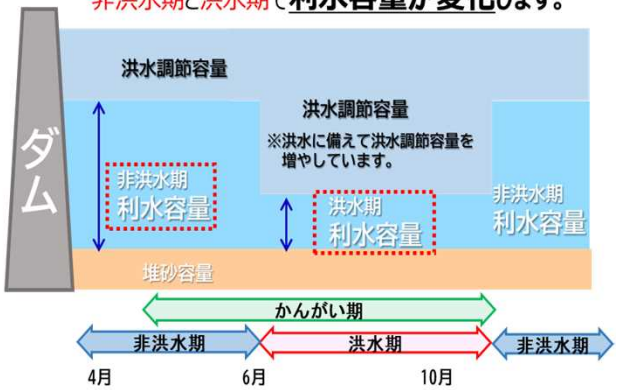
＜貯水率とは＞



※貯水率とは
貯水率（%）＝貯水量（現在）／利水容量
貯水率100（%）で満杯

＜期間に応じて利水容量が変わる＞

非洪水期と洪水期で**利水容量が変化**します。



※1　田瀬ダムの非洪水期の利水容量は、発電の使用可能容量で決定されるため、非表示とした。
※2　四十四田ダムはかんがい用水補給なし。

直轄管理ダムの貯水率情報（1週間毎に更新）
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/damu/chosuiritsu.pdf

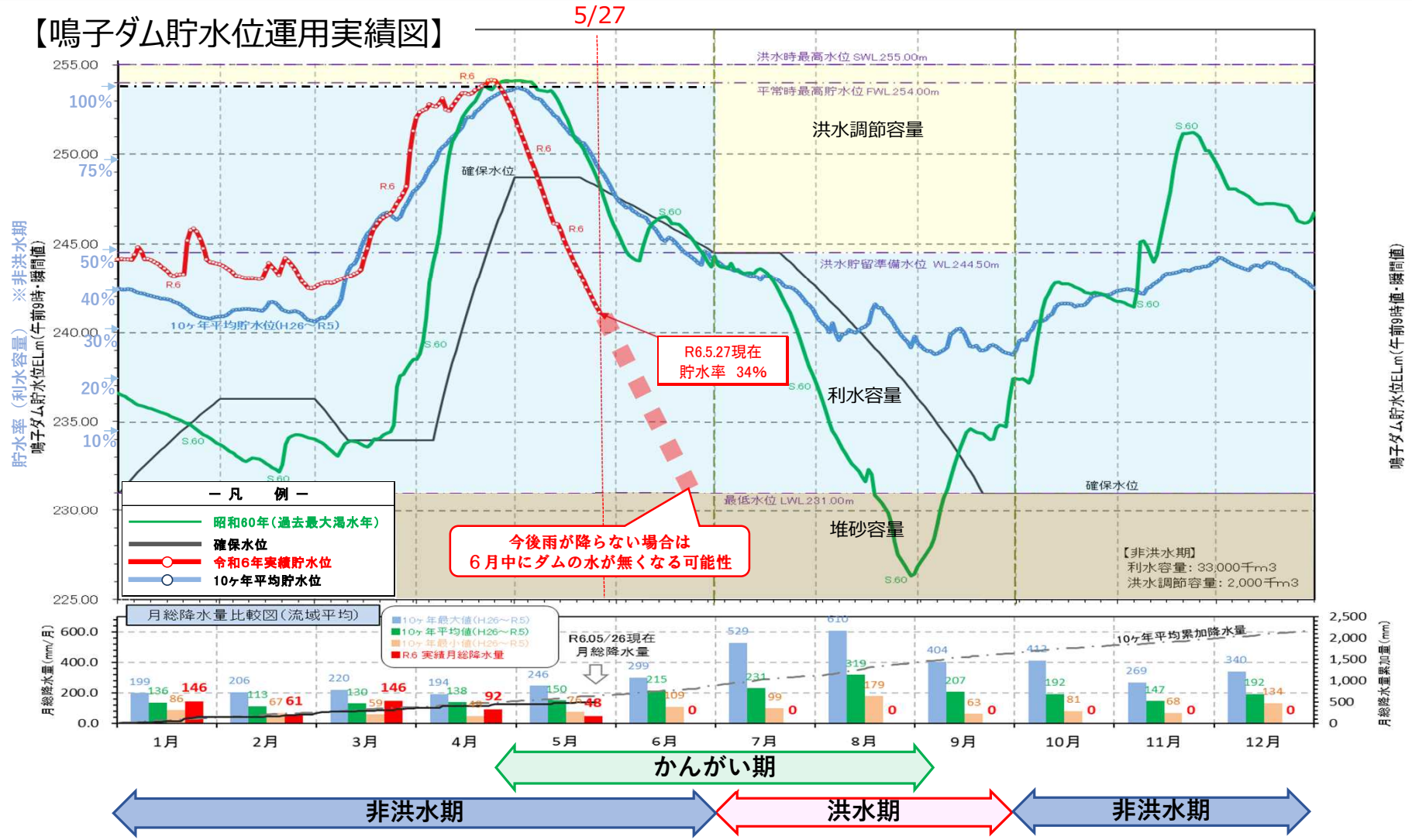
東北リアルタイムダム情報（川の防災情報より）
https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/damu/touhokurealtimedamu.pdf

4. 鳴子ダムにおける対応

別紙４

- 少雨等の影響により、現在の貯水率（利水容量）は約34%（令和6年5月27日現在）
  ※昨年同時期の貯水率（利水容量）は約55%
- 今後雨が降らない場合は、６月中にダムの水が無くなり、かんがい用水を供給できなくなる可能性
- 引き続き、気象状況等を注視し、渇水情報連絡会などで関係機関との情報交換や連携強化を図り、ダム運用を行います

【鳴子ダム貯水位運用実績図】



4. 鳴子ダムにおける対応

別紙４

【北上川水系（下流）江合川の取り組みについて】

➢ 鳴子ダムにおいて、貯水率（利水容量）が低下し、早期の貯水量回復が見込まれないことから、令和6年5月23日渇水対策支部（注意体制）を設置。関係機関と連携して情報収集に努め、渇水に備えています。

第１回　利水調整会議

宮城県大崎市にある鳴子ダム管理所において、少雪・少雨に伴い流入量が減少し、貯水位が低下していることから、利水調整会議を行い、発電およびかんがいの利水者に対し、今後の貯水位の状況や渇水に向けて調整を行いました。

■開催日時：令和６年５月１６日（木）

■利水者

・東北電力（株）
・大崎地域水管理協議会
・大崎土地改良区
・江合川沿岸土地改良区
・美里東部土地改良区
・涌谷土地改良区



写真－１　鳴子ダム状況





写真－２　利水調整会議の状況

渇水情報連絡会

宮城県石巻市にある北上川下流河川事務所では、左記の状況及び夏季に向けて渇水が懸念されることから、関係機関と情報交換を行い、連携強化を図りました。

■開催日：令和６年５月２３日（木）

■構成員

・宮城県　・東北農政局　・仙台管区気象台
・鳴子ダム管理所　・関係市町
・関係利水者（農業・水道・工業用水）等の担当部署

【記者発表：https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/99425_1.pdf】





写真－３　渇水情報連絡会の状況

今後の渇水へ備え

令和６年５月２３日
北上川水系（下流）江合川
渇水対策支部（注意体制）を設置

5. 名取川水系広瀬川における対応

別紙５

【名取川水系広瀬川の取り組みについて】
➢ 仙台河川国道事務所では、広瀬川において河川流量が減少していることから、関係機関と連携して情報収集に努め、渇水に備えます。

令和６年度　名取川水系渇水情報連絡会

宮城県仙台市にある仙台河川国道事務所では、渇水が発生した際、関係機関と連携強化を確認する目的で『渇水情報連絡会（定例会）』を実施しました。


写真－１　渇水情報連絡会の状況

■開催日：令和６年４月２３日（木）

■構成員
・宮城県　・東北農政局　・仙台管区気象台　・釜房ダム管理所　・関係市町
・関係利水者（農業・水道・工業・発電用水）等の担当部署

【記者発表：https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/98805_1.pdf】

仙台河川国道事務所としての取り組み

資料－１　河川流量低下時の重点確認ポイントマップ





資料－２　定点写真での記録

例年渇水が頻発している広瀬川では、渇水時に問題となる箇所をピックアップし、河川流量の低下時にそのポイントを重点的に巡視を行い、河川状況（水温・瀬切れの有無・魚の斃死状況）等の変化を監視しています。（２回/週）

名取川水系渇水情報連絡会（臨時会）

仙台河川国道事務所では、広瀬川において河川流量の低下が継続し、今後河川流量の早期回復が見込めないことから、関係機関と情報交換を行い、連携強化を図るため、臨時会を開催します。

■開催予定日：令和６年５月３０日（木）

今後の渇水へ備え

名取川水系広瀬川
渇水対策支部（注意体制）を設置を判断

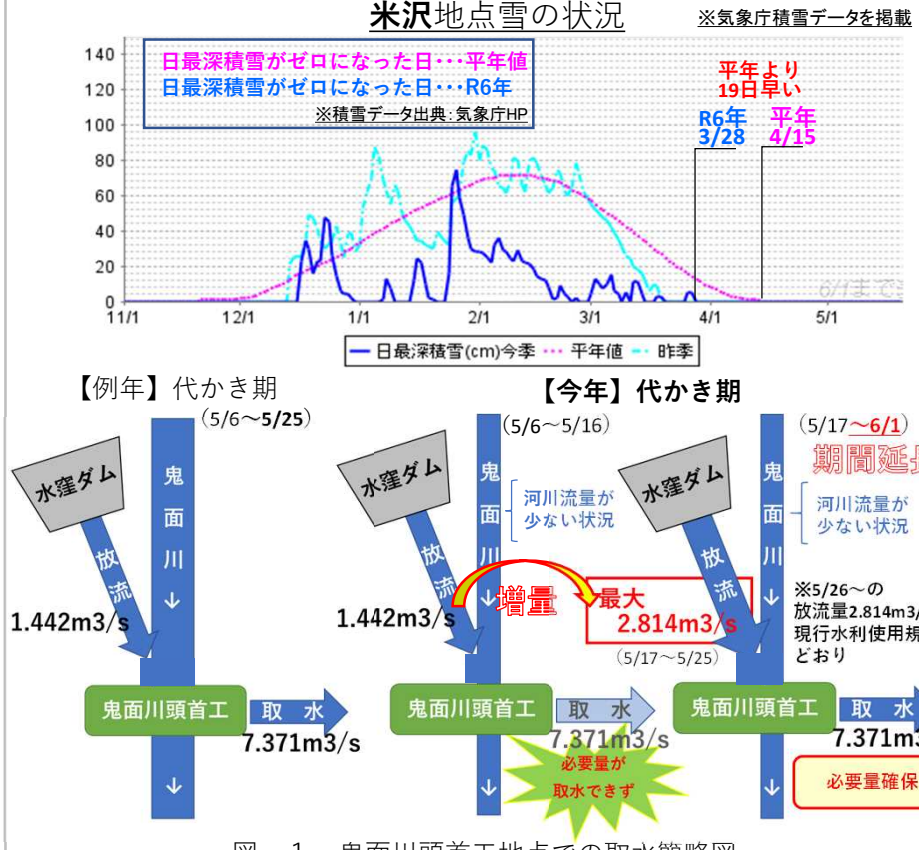
6. 農業用水確保のための対応

別紙 6

➢ 農業用水が不足するおそれがある以下の2地区において、関係機関と情報共有を図りながら水利用の変更対応を行っている。

国営米沢平野地区かんがい用水（最上川水系）

山形県米沢市にある水窪ダムでは、少雪及び早い雪解けの影響を受け、下流にある鬼面川（おものがわ）の河川流量が少なく、放流を加えても必要な水量が取水できず、代かき作業に遅れが生じていることから、**放流量を増やし、代かき期間を延長**して農業用水を確保しています。

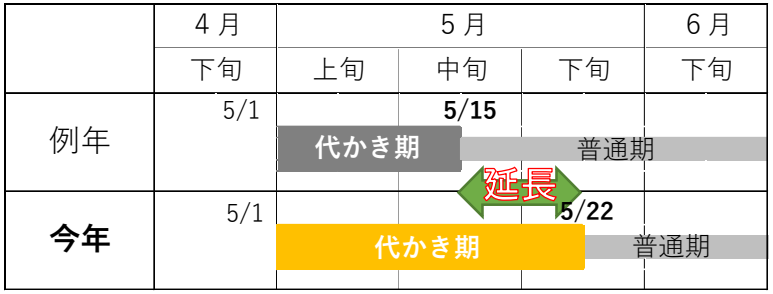


図－１　鬼面川頭首工地点での取水簡略図

【記者発表：https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/kisya/kisyah/images/99408_1.pdf】

盛岡南部農業水利事業（北上川水系）

岩手県盛岡市・滝沢市にある鹿妻頭首工では、例年5月1日から5月15日までの期間に約14m3/s取水し地区内へ配水しているが、春先以降に高温・少雨傾向が続き、田面の乾燥により用水需要が高まった結果、末端ほ場に用水が到達しない事象が発生したため、**代かき期間を延長**して農業用水を確保しました。



図－２　取水期間の延長



写真－１　末端ほ場の代かき期延長前後の状況

6. 農業用水確保のための対応

別紙 6

➢ 農業用ダム（東北農政局所管）の貯水率は、平年の約93%となっている。一部において、少雨、少雪により平年同時期と比べ、貯水量の低下が早まっている。（豊沢、岩堂沢）

○農業用ダム貯水状況（R6.5.15現在）※出典：東北農政局より

都道府県	水系名	ダム名等	現況貯水量（千m3）	平年貯水量（千m3）	貯水率（%）
青森県	岩木川	小田川ダム	8,111	8,001	101%
	岩木川	浪岡ダム	6,736	7,038	96%
	岩木川	早瀬野ダム	11,868	11,906	100%
	岩木川	二庄内ダム	14,954	14,920	100%
岩手県	馬淵川	大志田ダム	6,227	7,950	78%
	北上川	山王海ダム	28,283	32,326	87%
	北上川	葛丸ダム	2,178	2,222	98%
	北上川	豊沢ダム	13,453	19,702	68%
	北上川	岩洞ダム	39,315	40,414	97%
	北上川	相川ダム	1,069	1,194	90%

都道府県	水系名	ダム名等	現況貯水量（千m3）	平年貯水量（千m3）	貯水率（%）
宮城県	北上川	岩堂沢ダム	8,584	12,655	68%
	鳴瀬川	二ツ石ダム	6,993	9,635	73%
	北上川	荒砥沢ダム	8,911	9,383	95%
	北上川	小田ダム	5,403	6,673	81%
秋田県	雄物川	相野々ダム	2,983	2,784	107%
山形県	最上川	桝沢ダム	4,869	6,448	76%
	最上川	水窪ダム	28,260	29,985	94%
	最上川	新鶴子ダム	28,354	29,718	95%
福島県	阿武隈川	千五沢ダム	5,843	4,308	136%
	阿武隈川	深田調整池	5,586	5,124	109%
	阿武隈川	西郷ダム	2,267	2,301	99%

※対象ダム：国営造成ダムで有効貯水量が1,000千m3以上の農業用ダム
※現況貯水量は、R6.5.15現在の貯水量
※平年貯水量は、過去10カ年（H26～R5）の平均
※貯水率は、現況貯水量÷平年貯水量×100より算出

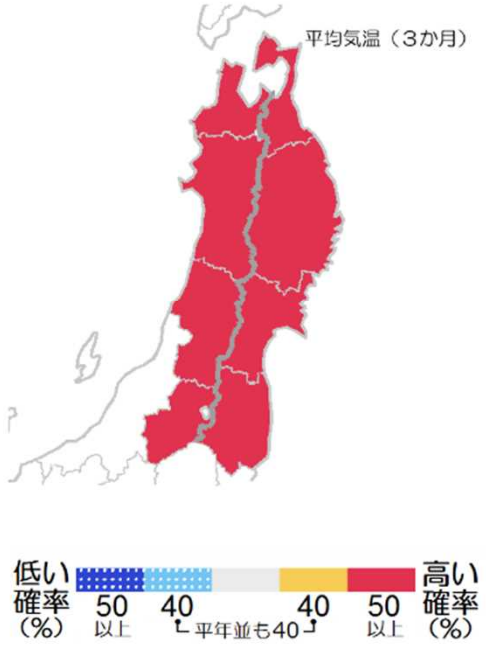
7．向こう3か月の天候の見通し

別紙 7

➢ 向こう３か月（６月～８月）の天候の見通しは、気温は高く、降水量はほぼ平年並の見込み

東北地方 （06月～08月）

３か月の平均気温・降水量

		平均気温（３か月）	降水量（３か月）
東北	日本海側	低20 並30 高**50**% **高い**見込み	少30 並30 多**40**% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少30 並30 多**40**% **ほぼ平年並**の見込み
数値は予想される出現確率（%）です			

出典：気象庁HP　令和6年5月21日公表（向こう3か月の天候の見通し）